



2022年7月14日
株式会社講談社

海賊版サイト「漫画BANK」の運営者を摘発 中国当局による行政処罰 確定のお知らせ

平素より弊社の出版活動にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

2022年6月15日、中国の重慶市文化市場執法総隊は、大規模海賊版サイト「漫画 BANK」(※1)の運営者に情報ネットワーク伝達権保護条例違反を認定して行政処罰を下し、6月21日に重慶市万州区人民政府のサイトに運営者一人の名前を公表しました(※2)。

「漫画 BANK」は講談社のマンガ作品等を含む多数のコンテンツを無許諾でアップロードし日本国内向けに無断で配信していた悪質なサイトです。日本人向けの漫画海賊版サイト運営者に対して、国外の行政機関が処罰を下すのは今回が初めてであり、摘発後、後継サイトも閉鎖するなど、画期的な事例といえます。

◆サーバー会社への米国裁判所による情報開示命令で運営者を特定

講談社、KADOKAWA、小学館、集英社の出版4社は、日本で猛威を振るっていた「漫画 BANK」が利用していたサーバー会社等に対する情報開示命令を米国裁判所から取得し、開示された情報を元に米国の通信会社等に対する情報開示申立を行うなどして、「漫画 BANK」の運営者が重慶市に居住する人物であると突き止めました。

この情報を元に、中国に事務所を持つ一般社団法人コンテンツ海外流通促進機構(CODA)に対応を要請。CODAから中国当局に対して、日本での甚大な被害状況や摘発の重要性を指摘する申立書および各種情報提供に基づき行政処罰の申し立てを行ったところ、中国当局が受理し、今回の行政処罰に至りました。



KODANSHA

「おもしろくて、ためになる」を世界へ
Inspire Impossible Stories

漫画家をはじめとする著作者、正規にご購入されたファンの方々の利益を守るため、当社は他の出版社や CODA などとともに、今後も悪質な海賊版サイト運営者に対して、国内外にかかわらず断固たる姿勢で臨み、著作権侵害行為の蔓延に対抗してまいります。

講談社広報室

なお、本件の詳細については CODA のリリースをご覧ください。
<http://www.coda-cj.jp/news/detail.php?id=242>

※1 漫画 BANK

日本のマンガ作品を権利者の許諾なくストリーミング形式で公開していた海賊版サイト。サーバーは中国国内に存在していたものの、中国国内からの同サイトへのアクセスはジオブロックにより拒否しており、中国国内からアクセスはできず、主に日本に向けて配信していた。一般社団法人 ABJ の試算によると、同サイトの開設期間中（2019年11月～2021年10月）の合計アクセス数は9億9370万に達し、タダ読みされた金額はコミックス販売価格換算で2082億円相当にのぼるなど、「漫画村」に匹敵する巨大海賊版サイト。

※2 6月21日付 重慶市万州区人民政府サイト

http://www.wz.gov.cn/bmjz_89642/bm/whhlyfzwyh/zwgk_94832/fdzdgknr_94834/xzcfqz/bljg_22/202206/t20220621_10835886.html